



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月13日

上場会社名 株式会社アーレスティ 上場取引所 東  
 コード番号 5852 URL http://www.ahresty.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 新  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 高橋 新一 TEL 03-6369-8660  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	106,989	6.5	2,868	△36.9	2,693	△32.2	2,360	△19.5
29年3月期第3四半期	100,429	△6.2	4,542	57.4	3,970	116.3	2,930	450.4

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 3,737百万円 (—%) 29年3月期第3四半期 △1,744百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	91.26	90.34
29年3月期第3四半期	113.40	112.43

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	137,721	65,205	47.2
29年3月期	135,044	62,053	45.8

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 65,017百万円 29年3月期 61,888百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	8.00	—	12.00	20.00
30年3月期	—	12.00	—		
30年3月期(予想)				14.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	144,700	5.9	4,100	△40.7	3,850	△38.5	2,900	△37.2	112.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	26,027,720株	29年3月期	26,027,720株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	160,217株	29年3月期	182,502株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	25,861,367株	29年3月期3Q	25,845,918株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費や設備投資の持ち直しの動きがみられ、企業収益や雇用情勢が改善するなど、緩やかな回復基調が続いております。アメリカでは景気は着実に回復が続いており、アジアでは中国の各種政策効果もあり景気は持ち直しの動きがみられ、インドは内需を中心に景気が緩やかに拡大し、世界の景気は回復しております。

こうした環境の中で、当社グループ全体の売上高は日本、アジアを中心とした受注量の増加により増収となる一方で、利益面については、アジアの好調な受注増が増益効果をもたらしているものの、日本、米国の減益影響により連結全体では減益となりました。当社グループでは昨年度よりスタートした1618中期経営計画に基づく施策展開を着実に進めるとともに、生産性や収益性の改善に努めてまいります。

当第3四半期連結累計期間の業績については、売上高106,989百万円(前年同四半期比6.5%増)、営業利益2,868百万円(前年同四半期比36.9%減)、経常利益2,693百万円(前年同四半期比32.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益2,360百万円(前年同四半期比19.5%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ① ダイカスト事業 日本

国内では、主要顧客である自動車メーカーにおける前年の熊本地震による生産減の反動や、主に北米、欧州市場向け輸出の増加により、当社の受注量は増加しました。受注量増に加えアルミ地金市況上昇により売上高は50,077百万円(前年同四半期比8.3%増)となりました。収益面においては、主に栃木工場での製造コスト削減が販売価格低下に比べ小幅にとどまっていることや燃料費等の増加の影響により、セグメント利益は1,049百万円(前年同四半期比43.5%減)となりました。

## ② ダイカスト事業 北米

北米自動車市場は、主要顧客である自動車メーカーにおいて、ここ数年続いた好調な販売に減速感が生じています。米国では市場の減速に加え、ダウンサイジングにより受注量が減少している中で生産性の改善が遅れており、減益要因となっています。一方のメキシコでは主要顧客からの受注量増加は好調に推移していますが、労働者分配金(PTU)の支払い増加等が収益の押し下げ要因となっています。この結果、北米セグメントでの売上高は30,158百万円(前年同四半期比2.0%減)、セグメント利益は151百万円(前年同四半期比90.1%減)となりました。

## ③ ダイカスト事業 アジア

中国では、主要顧客である日系自動車メーカーにおいて、減税幅の縮小により小型乗用車の販売には鈍化が見られますが、一方でSUVの販売が引き続き拡大しており、当社においても関係する部品の受注量は好調に推移しております。またインドでは、自動車市場が好調を維持している中で、当社の受注量も増加しました。好調な受注増の影響に加え、主に中国でのアルミ地金市況上昇を受け、アジアでの売上高は21,527百万円(前年同四半期比16.5%増)、セグメント利益は1,283百万円(前年同四半期比66.2%増)となりました。

## ④ アルミニウム事業

アルミニウム事業においては、販売量は微増でしたが地金市況の上昇を受け、売上高は3,432百万円(前年同四半期比6.5%増)となりました。収益面においては原価低減活動を推進しておりますが、原材料上昇と燃料費上昇の影響によりセグメント利益は173百万円(前年同四半期比12.5%減)となりました。

## ⑤ 完成品事業

完成品事業においては、主要販売先である半導体関連企業のクリーンルーム物件や通信会社のデータセンター向け物件等の受注が増加し、売上高は1,792百万円(前年同四半期比4.8%増)となりました。収益面においては、主に増収による増益効果等により、セグメント利益は255百万円(前年同四半期比155.0%増)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ2,676百万円増加して137,721百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の増加1,088百万円、保有株式の株価上昇による投資有価証券の増加1,687百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ474百万円減少して72,516百万円となりました。主な要因は、借入金減少1,584百万円、仕入債務の増加1,665百万円、固定負債その他に含まれる繰延税金負債の減少1,034百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ3,151百万円増加して65,205百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益等による利益剰余金の増加1,718百万円、その他有価証券評価差額金の増加1,153百万円によるものであります。以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末45.8%から47.2%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成29年10月25日に公表した業績予想を修正いたしました。詳細については、平成30年2月13日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,100	2,714
受取手形及び売掛金	23,015	22,657
電子記録債権	2,158	2,532
商品及び製品	2,801	3,628
仕掛品	3,994	4,293
原材料及び貯蔵品	3,344	3,321
その他	2,862	2,656
貸倒引当金	△1	△12
流動資産合計	42,275	41,791
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,455	15,073
機械装置及び運搬具(純額)	45,480	44,391
土地	5,199	5,430
建設仮勘定	8,051	10,079
その他(純額)	7,960	8,260
有形固定資産合計	82,146	83,235
無形固定資産	1,535	1,696
投資その他の資産		
投資有価証券	7,363	9,051
その他	1,722	1,970
貸倒引当金	△0	△24
投資その他の資産合計	9,086	10,997
固定資産合計	92,768	95,929
資産合計	135,044	137,721
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,903	13,609
電子記録債務	6,601	7,561
短期借入金	837	3,276
1年内返済予定の長期借入金	10,608	10,634
未払法人税等	899	1,104
賞与引当金	1,644	1,355
役員賞与引当金	30	—
製品保証引当金	73	88
その他	8,277	8,875
流動負債合計	41,877	46,506
固定負債		
長期借入金	21,359	17,309
長期未払金	1,066	1,028
退職給付に係る負債	2,919	2,927
その他	5,767	4,743
固定負債合計	31,112	26,009
負債合計	72,990	72,516

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,939	6,939
資本剰余金	10,180	10,180
利益剰余金	37,463	39,182
自己株式	△272	△238
株主資本合計	54,311	56,063
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,728	4,882
為替換算調整勘定	4,327	4,508
退職給付に係る調整累計額	△479	△437
その他の包括利益累計額合計	7,576	8,953
新株予約権	165	187
純資産合計	62,053	65,205
負債純資産合計	135,044	137,721

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	100,429	106,989
売上原価	87,745	95,282
売上総利益	12,684	11,707
販売費及び一般管理費	8,141	8,838
営業利益	4,542	2,868
営業外収益		
受取利息	19	20
受取配当金	146	159
為替差益	—	14
スクラップ売却益	107	83
その他	156	97
営業外収益合計	430	374
営業外費用		
支払利息	676	492
為替差損	248	—
その他	77	57
営業外費用合計	1,002	549
経常利益	3,970	2,693
特別利益		
固定資産売却益	274	10
補助金収入	52	9
保険差益	—	51
特別利益合計	327	72
特別損失		
固定資産除売却損	78	90
減損損失	23	—
特別退職金	—	55
製品保証費用	—	17
特別損失合計	101	164
税金等調整前四半期純利益	4,196	2,601
法人税、住民税及び事業税	989	1,270
法人税等調整額	275	△1,028
法人税等合計	1,265	241
四半期純利益	2,930	2,360
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,930	2,360



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	2,930	2,360
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	824	1,153
為替換算調整勘定	△5,552	181
退職給付に係る調整額	53	42
その他の包括利益合計	△4,675	1,377
四半期包括利益	△1,744	3,737
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,744	3,737
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	46,222	30,789	18,484	3,222	1,710	100,429
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,717	9	1,670	2,985	0	7,383
計	48,940	30,799	20,155	6,207	1,710	107,812
セグメント利益	1,857	1,531	772	198	100	4,459

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,459
セグメント間取引消去	82
四半期連結損益計算書の営業利益	4,542

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「ダイカスト事業 日本」において処分予定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として特別損失に計上しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において23百万円です。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	50,077	30,158	21,527	3,432	1,792	106,989
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,249	1	1,337	3,522	11	8,122
計	53,326	30,160	22,865	6,954	1,804	115,112
セグメント利益	1,049	151	1,283	173	255	2,912

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,912
セグメント間取引消去	△44
四半期連結損益計算書の営業利益	2,868

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。